

生長の家総裁
谷口 雅宣 先生

12月24日

お誕生日
おめでとう
ございます。



〒406-0032
笛吹市石和町四日市場1592-3
宗教法人
「生長の家山梨県教化部」
TEL 055-262-9601
FAX 055-262-9605
発行人：井下 昌典
編集：編集委員会
E-mail sni-yamanashi@nifty.com
ホームページ https://sni-yamanashi.org/

合掌、ありがとうございます。今回の「甲斐の光」12月号は、去る2024年10月20日(日)開催されました「生長の家山梨自然の恵みフェスタ2024」の特集号とさせていただきます。対面開催は、2019年6月23日(日)以来5年振りです。今回ご参加いただけなかった皆様にも是非とも雰囲気味わってみたいと思います。

さて、2024年も残り少ない日々となってきました。新型コロナウイルス感染症も昨年5月からは五類感染症となり行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の自主的な取り組みをベースとした取り組みに変わったことで、山梨教区としましてインターネット配信から対面の行事への移行が徐々に行われてきました。

私自身も昨年6月から山梨教区に着任させていただき、皆様とともにその変化に対応して参りました。甲斐見真会、青少年見真会、誌友会、オープン食堂、そして前述の通り、今年は自然の恵みフェスタも5年振りに開催できました。これからも、生長の家の人類光明化運動は世の中の様々な変化に対応しながら運動を展開して行きます。

私たちの日常生活も、様々な変化に影響を受けます。どんな変化が来ましても、私たちは、信仰者として神様の御心に叶った生活の実践を心がけていきたいものです。生長の家総裁・谷口雅宣先生は、10月29日にFacebookで、「今後も内外の政治動向に一喜一憂することなく、「犀の角の独り進むごとく」私たちのライフスタイルの転換を進めていこうではないか。」とお示しくださっています。今年一年、皆様からの温かいご支援ご協力に心から感謝申し上げます。
山梨教区教化部長 井下昌典 拝

生長の家山梨自然の恵みフェスタ2024

舞姫隊Good!

ゆうやーけこやけーの

まるでパリコレ!

わくわく発表会

軽やかに、シャンソン

TUNAのピアノ伴奏

ZWIFT体験中デース

だれ?

**92歳!!!!!!
着物リメイクファッションショー**

始めの挨拶

ピアノ、バイオリン、フルート写真無いけどピッコロも。独りで何でも出来ちゃう人

虫眼鏡で
見てね。



SNIクラフト倶楽部

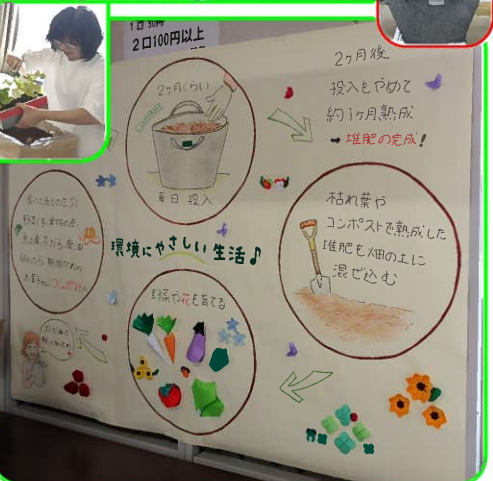


虫眼鏡を
使って見
て下さい



SNIオーガニック
菜園部

生活ゴミの80%は生ゴミ
*生ゴミを減したい方
*土に栄養を与えたい方
知らない間に毎日の生活の中で
地球貢献





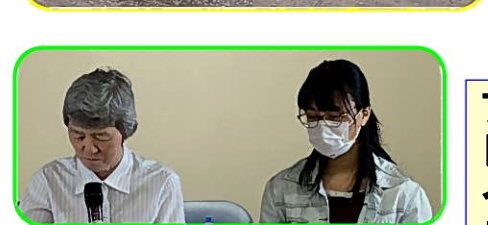
虫眼鏡を使って見
て下さい。資料は
教化部に展示して
あります。

地球社会貢献部



電動アシスト
自転車試乗

バーチャルサイ
クリングサー
ビス「ZWIIFT
(ズイフト)」の
体験コーナー



プレイランド部

同時開催の
オープン食堂



昔遊びを体験
する子どもた
ちのコーナー

終わりの挨拶

今月の「甲斐の光」は、フェスタの特集に紙面を多く使用しました関係で各組織からの原稿は今回と次回に分けて掲載させていただきます。

地方講師会

「自然の恵みフェスタ」に参加して

地方講師

阿仁屋 智香子

合掌ありがとうございます

去る十月二〇日に開催された「生長の家山梨自然の恵みフェスタ2024」にオーガニック菜園部として参加させていただきました。菜園部のブースでは、レタス苗の植え付けのワークショップ、オーガニック野菜の販売等をおこない、ご来場の皆様に喜んでいただけた素晴らしい一日でした。

事前準備の際に「有機栽培について」や「コンポストについて」などの掲示物の作成を担当の皆さんとおこなったのですが、その際に皆さんの気づきや学びがありました。有機野菜を選ぶ理由が日本では「品質が良いと思う」という回答が上位ですが、海外では「環境のためになる

から」という回答が上位だそうです。農林水産省の意識調査では環境に配慮した食品を選ぶ理由として年代別では全ての年代で「品質が良いと思うから」と回答した人の割合が多いのですが、二〇代では「環境問題を解決したいから」と回答した割合が高いという調査結果がありました。私自身も有機野菜を購入するとき「安心安全な食品だから」と思っていました。確かにそれを選ぶことによって「環境のため」になっていくと気が付きました。また、私の住む北杜市では、二〇二二年に地域全体で有機農業を推進する「オーガニックビレッジ」という取り組みをしていることも知りました。当日会場で紹介したバック型のコンポストは井下祥子さんがご自宅で使用していて、教えていただきました。コンポストは以前から始めてみたいと思いついていましたが、基材が入ったバッグに生ごみを入れて混ぜるだけという手軽さに「これなら出来そう!」と思い、我が家でも早速取り入れました。野菜くずなどの生ごみをコンポ

トに投入するようになったら、ごみの量がかなり減って驚きました。おかげでごみを収集に出す回数も減り、少しでも環境のためにいいことをしている実感がわいてきました。堆肥が出来上がった畑の土に入れて、何の野菜を作ろうか今からワクワクしています。今回のフェスタを通して、環境にやさしい生活への理解が深まり、次世代のためにより良い環境を引き継ぐために「選択」を心がけていきたいと思いました。



いずみ生命学園

とき：11月2日(土) 13:00~15:00
ところ：北杜市大泉10区公民館
朝礼：開会の祈り、大調和の神示、閉会の祈りは全員で、おこないました。『神さまと自然とともにある祈り』は、矢野日葵さんと宇都宮七海さんに読んでもらいました。

今月は、「人生読本」(一六頁)の、「思うとおりに人間はなる」というところから、自分が偉いと思う者は、ついに本当に偉くなる。自分がダメだと思ふ者はダメになる。心の中で、思っているとおりになるということをお話ししました。そのため、常に神様とお話しすることが大切であると話しました。その方法の一つは祈ることであり、生長の家では、神想観というお祈りがあることを伝えました。

短い神想観として「わがたましいの底の底なる神よ。無限の力よ、湧き出でよ!」(『新しい文明』を築こう中巻)一三〇頁)と心の中で数回一心に繰り返し唱えることで、私たちに内在する無限の力を言葉の力で引き出すことができることを説明しました。その後、「おおいそがし、こいそがし」の



絵本を読みました。この絵本は、秋になると田舎では冬支度に忙しいながらも楽しい生活をしている姿が描かれています。トウモロコシを乾燥したり、干し柿を吊るしたり、稲刈りしたり、豆の選別していることが書いてあるので、田舎で生きるための知恵を教えてくださいました。その後、みんなで紙粘土と小さなタイルを使ってコースターを作りました。型に粘土を入れて、タイルを好みの形に並べるのがとても楽しかったです。コースターが完成してから、宇都宮詩織さんに、「リッキとおともだち」の絵本を読んでもらいました。



この絵本では、主人公のリッキが、楽しんで新しいお友達を迎える様子が描かれている、友達は大切であるという本です。渡辺雅子地区連長からは寒天あめを頂きました。

した。どうもありがとうございました。ごさいました。参加者…宇都宮詩織、宇都宮実莉、宇都宮七海、近藤仁美、金内結花、矢野日葵、保護者…矢野裕大(矢野桜子・赤ちゃん)、金内夏子、スタッフ…田中満子(敬称略)



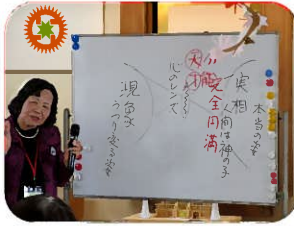
甲斐見真会

十一月九日、十日に教化部において「甲斐見真会」が開催されました(参加者総数三十六名)。

今回の主なプログラムは、講話、体験談、実相円満講行の説明と実修、神想観の説明と実修、座談会、先祖感謝供養祭、祈り合いの神想観でした。

二日目に行われた先祖感謝供養祭の参列者は三十一名(内、ネット二名)で、当日は一三六八柱(二般一、二〇〇柱、童子一六八柱)の霊牌が招霊されました。参加者感想文を一部掲載いたします。

・ご講話がととてもすば



祈り合いの神想観

らしくずっと聞いていたかったです。知・信・行が心にのこりました。運営の皆様が行きとどいていてすばらしかったです。久しぶりに対面の「見真会」に参加し、新たな感覚を覚えました。やはり生長の家の行事は、直接受けること、行じることが大切であると再認識いたしました。この行事を企画運営して下さいました方々に心から感謝申し上げます。

谷口清超大聖師十六年祭

十月二十八日、紅葉が色づきはじめて生長の家国際本部イベントホールにおいて、「谷口清超大聖師十六年祭」がしめやかに執り行われました。

今回は、山梨・長野両教区の幹部・会員から二十名ずつ参列させていただきました。また、年祭の様子はインターネットを通じてライブ配信されました。参列者は、真心を込めて聖経「甘露の法雨」一斉読誦、焼香を行いました。

最後に生長の家総裁・谷口雅宣先生のご挨拶があり、感謝を深める一日となりました。

↓記念写真(一日目)



↑記念写真(二日目)



国際本部で年祭に参列し、直接、総裁先生のご挨拶を拝聴する機会を与えていただき、参列者はとても感動している様子でした。このような機会を与えていただいたことに心より感謝申し上げます。(写真は国際本部提供)

教化部大掃除

十月十三日、教化部の大掃除が行われました。二階の倉庫などの整理、窓拭き、棚拭きなど、十時〜十七時まで行いました。皆様のご協力のおかげで、とても綺麗に整頓されました。

ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

今回は、十一月三十日、今年最後の大掃除が行われます。ご協力いただけます方は、教化部までご連絡をお願いいたします。



整理整頓されすっきりしました。



倉庫の物を出して掃除しました

皆様のご参加を心よりお待ちしております！

2024年(令和6年) 12月11日(水) 12:00 ~ 13:30
場所：生長の家山梨県教化部

健康的な食生活は、いかがですか？

ノーミートの昼食は、30食前定 無料

料理客は10月に提供したメニューです。

ノーミート料理にこだわる理由

地産地消

できるだけ山梨県産の食材を使い、輸送にかかるCO2を抑えています。

旬産旬消

旬の食材を使うことで、環境への負荷を低減し、健康に配慮しています。

無農薬

倍徒の畑で採れた野菜などを活用し、無農薬を心がけています。

有機栽培

農作物本来の味を引き出し、生物多様性を保全する効果が期待できます。

「大晦大祓式」

日時: 12月25日(水) 10:00~10:55

※生長の家山梨県教化部からFacebookによるライブ配信

「浄心行」

日時: 12月25日(水) 11:00~12:30

教化部へのご参加をお待ちしています!!

大祓人型は12月20日(金)までに、
浄心記載文は、当日、来られない方は
12月23日(月)までに教化部へお届けください。

「浄心行」のご案内

「大晦大祓式」に続いて「浄心行」が開催されます。心身ともに浄め 新生いたしましょう。

「浄心行とは、心の中にある怨みや、憎しみ、恐怖、不安、自分自身に対してとがめる心等一切の気持ちを紙に書いて、聖經読誦のうちにこれを焼却する行です。」

『“新しい文明”を築こう』中巻 実践編
222頁より引用

「鏡餅」のご案内

感謝の真心を込めて
鏡餅を奉納し、
新年を迎えましょう。

教区鏡餅 一口 二千円以上
申込目安 十二月二十日
(その後も受け付けます)
※申込は教化部へお願いいたします。
宇治別格本山鏡餅 一口 千円以上
申込締切 十二月二十日
※申込は教化部へお願いいたします。



「大晦大祓式」「浄心行」

おまじないおまじない

開催のご案内

日時 十二月二十五日(水) 午前十時
会場 生長の家山梨県教化部
大祓人型の締切日は十二月二十日(金)です。
それまでに教化部へお届けください。
大祓人型はこのようにして納めましょう

奉納金は1人(2枚)
300円以上です



(「大祓人型」記入例)

- 人型は一人につき、同じものを二枚書きます。(一枚は生長の家総本山、もう一枚は教区での大祓用です)
 - 「大祓人型」は最寄りの白鳩会・相愛会・青年会にお求めください。教化部にもございます。
 - 大祓式は生長の家総本山および教化部にて執行行われます。
- ぜひご参加くださいませ一緒に聖經を読誦して、心身を浄めましょう。

「先祖感謝供養祭」

(毎月開催、以下は直近2カ月の日程)

日時: 12月8日(日) 10:00~11:30
1月12日(日) 13:00~14:30

当日は、Facebookグループ生長の家山梨教区でライブ配信します。

※ 霊牌は、教区の御祭後、宇治別格本山に送られ、1年間通して「聖經・讃歌」の読誦によって供養されます。

普及誌1月号(11/8締切)新規購読者

ご紹介くださいましたみなさま
ありがとうございます。(敬称略)

組織名	お名前	紹介者
白鳩会	阿部 哲也	
白鳩会	阿部 輝美	

冬季青少年一日見真会

とき 2024年12月22日(日)
10:00~15:00(予定)

ところ 長坂町農村環境改善センター
対象 小学生、中学生、高校生
講師 井下 昌典 本部講師 他

※詳しくはチラシをご参照ください。
※対面行事なので、ネット配信はありません。

昨年の様子

